

平成19年度 環境理工学部授業日程計画 (2007~2008)

前 期							後 期																
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備 考						
4 月	1	2	3	4	5	6	7	1日~7日 春季休業 2日 新入生オリエンテーション・TOEIC-IPテスト 3日 新入生履修相談会 9日 入学式、新入生オリエンテーション 10日 授業開始 29日~5月5日 特別休業 29日 昭和の日 30日 振替休日	10 月		1	2	3	4	5	6	1日 授業開始 8日 体育の日 ← 9日は月曜日の授業を行う。 22日 開学記念日						
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13							
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20							
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27							
	29	30								28	29	30	31										
5 月			1	2	3	4	5	3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日	11 月					1	2	3	3日 文化の日 23日 勤労感謝の日 21日・22日午前 補講期間 【23日~25日 大学祭】 22日 3~5時限 臨時休業(大学祭準備) 26日 1~5時限 臨時休業(大学祭片付け) ← 27日は月曜日の授業を行う。						
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10							
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17							
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	[21]	[22]	23	24							
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30								
6 月						1	2	16日 海の日 ← 17日は月曜日の授業を行う。 18日~31日 期末試験期間	12 月							1	23日 天皇誕生日 24日 振替休日 25日~28日 補講期間 25日~1月7日 冬季休業						
	3	4	5	6	7	8	9			2	3	4	5	6	7	8							
	10	11	12	13	14	15	16			9	10	11	12	13	14	15							
	17	18	19	20	21	22	23			16	17	18	19	20	21	22							
	24	25	26	27	28	29	30			23	24	[25]	[26]	[27]	[28]	29							
7 月								1日 元日 ← 9日は月曜日の授業を行う。 10日 補講期間 14日 成人の日 18日 センター試験実施に伴う臨時休講 19日・20日 大学入試センター試験 28日~2月8日 期末試験期間	1 月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	[10]	11	12
	15	16	17	18	19	20	21			13	14	15	16	17	18	19							
	22	鴨	鴨	鴨	鴨	鴨	28			20	21	22	23	24	25	26							
	29	鴨	鴨							27	鴨	鴨	鴨	鴨									
8 月				[1]	[2]	[3]	4	1日~3日 補講期間 1日~9月30日 夏季休業	2 月						①	2	11日 建国記念の日 12日~3月31日 臨時休講 25日・26日 一般選抜(前期日程)						
	5	6	7	8	9	10	11			3	④	⑤	⑥	⑦	⑧	9							
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16							
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23							
	26	27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29								
9 月							1	17日 敬老の日 23日 秋分の日 24日 振替休日	3 月							1	臨時休講 12日 一般選抜(後期日程) 20日 春分の日 25日 卒業式						
	2	3	4	5	6	7	8			2	3	4	5	6	7	8							
	9	10	11	12	13	14	15			9	10	11	12	13	14	15							
	16	17	18	19	20	21	22			16	17	18	19	20	21	22							
	23	24	25	26	27	28	29			23	24	25	26	27	28	29							
	30									30	31												
前期計	15	15	15	15	15			授業週数 (含試験)	後期計	15	15	15	15	15			授業週数 (含試験)						

7月17日を含む ↑ 10月9日、11月27日及び1月9日を含む ↑
 ■ は休業日及び臨時休講、○は期末試験日、【 】は補講日

Ⅳ 岡山大学環境理工学部履修細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岡山大学環境理工学部規程（平成16年岡大環第1号）第9条及び第20条の規定に基づき、岡山大学環境理工学部における授業科目及び単位数並びに卒業の要件に関し、必要な事項を定めるものとする。

(教養教育科目及び専門教育科目)

第2条 教養教育科目及び専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、別表に定める学科カリキュラムのとおりとする。ただし、教養教育科目は、学年の始めに岡山大学教育実施機構が公示する授業科目とする。

(卒業論文履修資格)

第3条 卒業論文を履修できる者は、3年以上在学し、次の表に定める要件を満たした者とする。

学 科	要 件
環 境 数 理 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 教養教育科目（3項の科目を含む） 24単位以上 3. 教養教育科目の外国語科目 10単位以上 4. 必修の専門教育科目 33単位以上
環境デザイン工学科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 教養教育科目の英語 （基礎英語及び上級英語を除く） 必修の専門教育科目 } 27単位以上
環 境 管 理 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 必修の専門教育科目 } 56単位以上
環 境 物 質 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 102単位以上 2. 教養教育科目の外国語科目 8単位以上 3. 必修の専門教育科目（必修実験を含む） 41単位以上

2 環境管理工学科及び環境物質工学科においては、学科の定める卒業要件単位数以上修得した教養教育科目単位は、前項に規定する卒業要件として認められる単位には含まれないものとする。

(専門基礎科目)

第4条 専門基礎科目は学部共通の授業科目とする。学部が開講する専門基礎科目は、第2条別表に定める学科カリキュラムにかかわらず、履修することができる。

2 学科の定める卒業要件単位数以上修得した専門基礎科目単位の取扱いは、次のとおりとする。

環境数理学科 : 卒業要件単位 [自由科目]

環境デザイン工学科 : 卒業要件外

環境管理工学科 : 卒業要件単位 [選択科目]

環境物質工学科 : 卒業要件外

(他学科及び他学部履修)

第5条 他学科及び他学部履修により修得した単位は、各学科の定めるところにより選択科目又は自由科目とすることができる。

附 則

1 この細則は、平成16年4月1日より施行する。ただし、平成15年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては、平成15年度入学者から適用する。

附 則

1 この細則は、平成17年4月1日より施行する。ただし、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、環境数理学科の平成15年度及び平成16年度入学者にあつては、第3条の表の要件の欄中1. 卒業要件として認められる単位及び4. 必修の専門教育科目の単位数をそれぞれ98単位以上及び24単位以上とする。

附 則

この細則は、平成18年4月1日より施行する。ただし、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成19年4月1日より施行する。ただし、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表
学科カリキュラム

■環境数理学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境数理学概論	○								2			2		
主題 科目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目	○	○	○	○						8以上	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目	○	○	○	○									
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目	○	○	○	○									
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目	○	○	○	○						2以上	4単位まで		
	自然科学	自然科学系科目	○	○	○	○						2以上	(数理系, 統計学系の科目を除く)		
	生命・保健科	健康・スポーツ科学		○	○	○	○							2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)		○	○									1単位まで	
	情報科学												卒業要件単位外		
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工1)		○								2	8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○									2			
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)				○	○							4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○									
		英語特別演習 (1, 2)						○	○	○	○				
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○											
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○								留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる		
教養教育科目 計												30			

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目区分	授業科目	週授業時間数								単位			履修要件	卒業要件単 位
		1年次		2年次		3年次		4年次		必修	選択	自由		
		前	後	前	後	前	後	前	後					
専門基礎科目	共通 環境理工学入門 技術者倫理 キャリア形成論	2	2							2 2	2		共通必修科目 4単位	専門基礎 科目及び 専門科目 98単位
	基礎科学系科目 微分積分Ⅰ 演習 微分積分Ⅱ 演習 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 演習 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 現代の物理学 基礎からの力学 現代の化学	2 2 2 2 2 2 2 2									2 1 2 1 2 2 1 2			
環境科学系科目	環境と生物 ※ 環境生物学 ※ 気象と水象 環境と地理 地球と環境 循環型社会システム 水質学 エネルギーとエントロピー 環境と物質 環境と地盤 環境影響評価学 基礎地球科学	2 2			2 2								2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	環境科学系 選択科目 8単位 (※を2単位 以上含むこと)
専門科目	計算機リテラシ入門 離散数学入門 応用解析学A ベクトル解析 情報統計学 数理統計学Ⅰ プログラミング言語 プログラミング言語演習 計算解析 グラフとアルゴリズム 環境数学演習 卒業論文 情報課題研究	2								2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 0 1 0			必修科目 31単位 } 1科目 選択必修	
	計算機操作入門 計算機理論入門		2 2								2 2		2単位 以上	
	線形代数Ⅲ 代数学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学基礎 幾何学要論 応用解析学B フーリエ解析と偏微分方程式 確率論 力学系とモデリング			2 2		2 2						2 2 2 2 2 2 2 2 2		8単位 以上
	実験数理 ※ 数値シミュレーションⅡ ※ 計算統計学Ⅰ ※ 数値シミュレーションⅠ 実験情報数理					2 2					2 2 2 2			4単位 以上 (※を2単位 以上含むこと)
	計算統計学Ⅱ 数理統計学Ⅱ 計量アナリシスⅠ					2 2 2					2 2 2			2単位 以上
	環境アナリシス 環境情報モデル学 環境数理生物学 偏微分方程式とその応用 環境統計科学Ⅰ 環境統計科学Ⅱ					2 2 2 2					2 2 2 2 2			4単位 以上
	応用数理Ⅰ 応用数理Ⅱ 環境数理モデルA 環境数理モデルB 計量アナリシスⅡ 環境統計モデル					2 2 2 2					2 2 2 2 2			
	情報と職業 情報数理インターンシップ 情報化社会と技術(工学部開講) 計算機アーキテクチャⅠ(工学部開講) 土壌科学概論 植生管理学 廃棄物マネジメント 景観論Ⅰ 数値解析学 農村整備学 森林環境論 環境政策論 労働環境工学					2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 2				2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		

■環境デザイン工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境デザイン工学概論	○								2			2		
主題 科目	学問の世界	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで			
	自然科学	○	○	○	○					4	6単位まで				
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○						2単位まで			
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○								1単位まで			
情報科学												卒業要件単位外			
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工 2)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		英語特別演習 (1, 2)													卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○									
	ドイ ツ 語	ドイツ語初級	○	○								4	8単位まで		
		ドイツ語中級			○	○									
	フ ラ ンス 語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中 国 語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓 国 語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロ シ ア 語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イ タ リ ア 語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日 本 語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○										留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる
教養教育科目 計															32

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科 区 目 分	授 業 科 目	週 授 業 時 間 数								単 位			履修要件	卒業要件 単 位			
		1年次		2年次		3年次		4年次		必修	選択 必修	選択					
		前	後	前	後	前	後	前	後								
専 門 基 礎 科 目	共通 環境理工学入門 技術者倫理 キャリア形成論	2	2							2			共通科目 4単位	専門基礎 科目28 単位			
	基礎 科学 系 科 目	情報処理入門 基礎からの力学 現代の物理学 情報処理（C言語）	2	2							2				基礎科学系科目 12単位		
		現代の化学	2									2			「現代の化学」「環境生 物学」のうち1科目必修		
		線形代数Ⅰ 統計学Ⅰ	2								2	2			1科目必修		
		線形代数Ⅱ 統計学Ⅱ		2									2		2		
		環 境 科 学 系 科 目	循環型社会システム 水質学 環境影響評価学 環境と地盤			2	2					2				環境科学系科目 12単位	
	環境生物学					2						2			「現代の化学」「環境生 物学」のうち1科目必修		
	気象と水象 地球と環境 基礎地球科学 エネルギーとエントロピー 環境と物質		2	2									2		2	2	2
	測量学 測量学実習 外国書講読 卒業論文※				2	3			2			2	1		2	10	必修科目 15単位
	[選択科目]A群															A群の選択必修科目 6単位	
専 門 科 目	応用解析学A 応用解析学B 数値解析学 情報処理（Fortran言語）			2	2	2					2	2	2	2	3科目必修		
	環境デザイン工学インターンシップ												1				
	[選択科目]B群 変形体力学Ⅰ及び演習 コンクリート構造設計学Ⅰ コンクリート構造設計学Ⅱ 構造材料及び実験 鋼構造設計学 変形体力学Ⅱ 振動学		4				2	2				3	2	2	3	B群の選択必修 科目10単位、 選択科目2単位	
	[選択科目]C群 土質力学Ⅰ 土質力学Ⅱ 土質力学演習 地下水環境工学 土質試験法及び実験 地盤工学 地盤環境工学			2	2	2	2	2				2	2	1		C群の選択必修 科目8単位、 選択科目2単位	
	[選択科目]D群 水理学 水理学演習 水理設計学及び演習 環境水理 水理計測法及び実験 河川環境学 流域水文学 沿岸環境学			2	2		4	2	2	2		2	1	3	2	D群の選択必修 科目9単位、 選択科目4単位	
	[選択科目]E群 上下水道学 水環境解析 廃棄物マネジメント 生態毒性学 水質計測法及び実験 大気環境学 衛生薬学Ⅱ（薬学部開講） 都市経済学（経済学部開講） 地域経済学（経済学部開講）					2	2	2	2			2	2	2	1	2	E群の選択必修 科目9単位、 選択科目4単位
	[選択科目]F群 計画数理 都市・地域計画学 環境計画学 計画学演習 景観論Ⅰ 景観論Ⅱ及び演習 地形・地理情報解析 交通計画学				2		2	2	2			2	2	2	1	3	F群の選択必修 科目12単位、 選択科目2単位

選択科目A群は必ず履修し、選択B～F群のうち3群について「履修要件単位」を満たすこと。

ただし、E群を選択しない場合でも「上下水道学」、「水環境解析」、「廃棄物マネジメント」のうち1科目は履修すること。

※卒業論文の可否判定は、卒業論文の内容と別途実施する学力試験及び技術者倫理レポートの成績により行う。

■環境管理工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境管理工学概論	○								2			2		
主題 科目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目	○	○	○	○									
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目	○	○	○	○									
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目	○	○	○	○							4単位まで		
	自然科学	自然科学系科目	○	○	○	○					6		8単位まで		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○								2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○										1単位まで	
情報科学													卒業要件単位外		
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工3)		○							2		8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○						4			
		基礎英語												卒業要件単位外	
		上級英語	○	○	○	○								4	8単位まで
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○					
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○											
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○								留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる		
教養教育科目 計												33			

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目区分	授業科目	週授業時間数								単位			履修要件	卒業要件単 位		
		1年次		2年次		3年次		4年次		必修	選択	自由				
		前	後	前	後	前	後	前	後							
専門基礎科目	共通	環境理工学入門		2						2			共通科目 4単位	専門基礎 科目22 単位		
		技術者倫理	2							2						
		キャリア形成論			2						2					
	基礎科学系科目		情報処理入門		2						2				基礎科学系 科目8単位	
			物理入門	2							2					
			現代の化学	2							2					
			統計学Ⅰ	2								2				
			統計学Ⅱ				2						2			
			基礎からの力学	2									2			
			物質化学入門	2									2			
	環境科学系科目		環境と生物	2							2				環境科学系 科目10単位	
			気象と水象		2						2					
			環境と地理		2						2					
			地球と環境	2								2				
			水質学			2							2			
		エネルギーとエントロピー			2							2				
		環境と物質			2							2				
		環境と地盤				2						2				
		環境生物学				2						2				
		環境影響評価学				2						2				
		基礎地球科学		2								2				
		循環型社会システム			2							2				
専門科目		環境管理数学	2							2			必修科目 58単位	専門科目 74単位		
		環境管理工学演習				2				1						
		分野演習					2			1						
		土壌科学概論		2						2						
		植生管理学		2						2						
		基礎地形情報学			2					2						
		土壌の物質移動学				2				2						
		生産基盤管理学					2			2						
		流体力学入門		2						2						
		流域水文学				2				2						
		水資源利用学					2			2						
		水文環境管理学						2		2						
		構造力学Ⅰ		2						2						
		構造力学Ⅱ			2					2						
		土質力学			2					2						
		環境施設設計学						2		2						
		地域景観論			2					2						
		土地利用計画学				2				2						
		公共財管理論					2			2						
		地域開発論					2			2						
		農村計画論				2				2						
		農村整備学					2			2						
		基礎地形情報学実習			6					2						
		環境生物学実験					3			1						
		土壌物理実験						3		1						
		水利実験						3		1						
		土質・コンクリート実験						3		1						
		卒業論文								10						
	選択科目		土壌圏管理学			2						2				選択科目 16単位
			土壌物理学			2						2				
			水理学			2						2				
			地域経済学		2							2				
		応用解析学A			2						2					
		環境気象学				2					2					
		地盤防災工学				2					2					
		環境経済学				2					2					
		環境情報処理				2					2					
		応用解析学B				2					2					
		水域環境管理学					2				2					
		環境施設管理学					2				2					
		コンクリート工学					2				2					
		環境管理工学実習					6				2					
		地形情報管理学						2			2					
		森林環境論						2			2					
	景観管理学						2			2						
	外国書講読						2			2						
	地形情報管理学実習						6			2						
	土地利用計画学演習						4			2						

■環境物質工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境物質工学概論	○								2			2		
主題 科目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目	○	○	○	○									
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目	○	○	○	○									
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目	○	○	○	○							6単位まで		
	自然科学	自然科学系科目	○	○	○	○						7	7単位まで		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○								2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○										1単位まで	
情報科学													卒業要件単位外		
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工4)		○								2	8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○									2			
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○								4	
		基礎英語												卒業要件単位外	
		上級英語	○	○	○	○								4	8単位まで
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○					
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○											
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○								留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる		
教養教育科目 計												35			

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

2 「個別科目」の「自然科学」の中から、生物、物理、地学のいずれかを主たる内容とする科目（実験を除く）を必ず1科目以上修得すること。ただし、専門基礎科目「現代の物理学」「基礎からの力学」をもってこれに代えることができる。

また、「教養物理学実験」は、専門科目「環境化学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の履修に必要なので必ず修得すること。

V 授業科目の履修について

1 履修上の注意

授業科目は、教養教育科目と専門教育科目に分かれており、各学科の授業科目、単位数及び履修方法等は、「IV 岡山大学環境理工学部履修細則」のとおりです。教養教育科目履修の手引き・授業時間表、環境理工学部時間割表、学生便覧及びシラバス等に基づき履修計画を立て、前期及び後期それぞれの学期ごとに定められた期間内に、履修手続を行ってください。

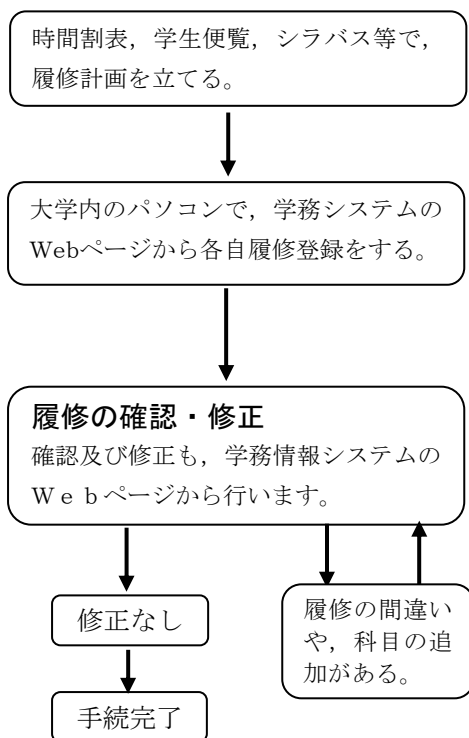
2 授業科目の履修登録について

履修登録は、大学内に設置されているパソコンから、学務システムのWebページ（インターネット）により行います。入学時に配布された学務システムの利用に必要なパスワード等は、忘れたり紛失したりしないように注意してください。

学務システムURL : <http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/index.html>

「岡山大学HP」→「在学生・教職員の皆様へ」→「在学生のためのキャンパスライフ」
→「学務システム（履修・成績など）」

【履修手続の流れ】



履修手続期間：

前期（4月中旬～下旬）、後期（10月上旬～中旬）
（履修手続の日程は掲示により通知します。）

＜注意＞

履修登録をした当日には、履修のエラー（間違い）の表示は画面に表示されません。翌日以降に必ずもう一度画面を見て履修エラーの有無を確認してください。履修エラーがあった場合は、必ず履修手続期間内に自修正を行ってください。

確認をしなかったことによる履修漏れ、履修の間違い等があっても、原則として履修科目の追加・変更はできません。

3 教養教育科目の履修登録上制限

環境理工学部では、教養教育科目における履修登録上制限を実施しています。教養教育科目の履修登録単位数が前期・後期を合算して**26単位以下**になるように履修計画を立ててください。（この26単位には、取得できなかった単位数も含むことに注意してください。）

4 他学部の授業科目の履修について

1) 教職に関する科目

教育職員免許状取得のための教育学部の授業科目（教職に関する科目）を履修する場合は、教育学部の講義番号で登録してください。

2) 他学部開設の授業科目

他学部開設の授業科目の履修を希望する場合は、授業担当教員及び所属学科の承認を得て履修登録を行ってください。授業科目によっては卒業要件として認められないものがあるので注意が必要です。

5 平成18年度以前入学者の履修について

カリキュラムの変更等のため、一部科目が平成18年度以前入学者の入学時の授業科目名と異なる授業科目名で開講されている場合があります。履修にあたっては所属学科等の指導に従い、授業科目の読み替えに留意して本年度の履修計画を立ててください。

卒業要件単位数及び卒業論文履修資格単位数については、入学年度の学生便覧を参照してください。ただし、環境数理学科の平成15年度及び平成16年度入学者並びに環境デザイン工学科の平成16年度入学者の卒業論文履修資格単位数については、入学年度の学生便覧の記載から変更されていますので十分注意し、不明な点は必ず所属学科で確認してください。

[1] 平成19年度開講授業科目の履修について

■ 教養教育科目

教養教育科目の科目区分が平成14年度、平成18年度及び平成19年度に変更されているので、入学年度に対応する「教養教育科目履修の手引き」を参考に履修してください。

■ 専門科目

[2] 平成19年度開講読替授業科目等を参考に履修してください。

[2] 平成19年度開講読替授業科目等

■ 専門基礎科目の履修について

入学年度 科目	平成11～14年度入学者		平成15年度入学者	平成16年度以降入学者	
	授業科目	単位	授業科目	講義番号	授業科目
基礎科学系科目	基礎解析学Ⅰ	2	微分積分Ⅰ	105036	微分積分Ⅰ
	基礎解析学Ⅱ	2	微分積分Ⅱ	105037	微分積分Ⅱ
	基礎線型数理学Ⅰ	2	線形代数Ⅰ	105038	線形代数Ⅰ
	基礎線型数理学Ⅱ	2	線形代数Ⅱ	105039	線形代数Ⅱ
	基礎計算機科学	2	計算機リテラシ入門	106015	計算機リテラシ入門
	基礎解析学Ⅰ理解	2	微分積分Ⅰ演習	105040	微分積分Ⅰ演習
	基礎解析学Ⅱ理解	2	微分積分Ⅱ演習	105041	微分積分Ⅱ演習
	基礎線型数理学Ⅱ理解	2	線形代数Ⅱ演習	105042	線形代数Ⅱ演習
	情報処理	2	情報処理	105045	情報処理(Fortran言語)
				105046	情報処理(C言語)
力学入門	2	力学入門	105047	基礎からの力学	
物理学実験	1	物理学実験	—	物理学実験(16年度入学者) →下記「教養物理学実験」を履修してください。	
			912311	教養物理学実験 (17年度以降入学者)	
環境科学系科目	環境生物・化学	2	環境生物・化学	105050	水質学
	地域社会と環境	2	地域社会と環境	105048	環境と地盤
	環境植物学	2	環境植物学	105052	環境生物学

*「環境と地盤」については、「都市と環境」の代わりとして開講します。

*平成16年度以前入学者で「自然と科学」を未修得の学生は、対応を別途掲示等により指示しますので、所属学科の指示に従ってください。

*平成16年度以前入学者で「物理学実験」を未修得の学生は「教養物理学実験」(教養教育科目)を履修してください。

■ 専門科目
環境数理学科

平成15～18年度入学者	履修要件・単位			平成19年度以降入学者		備考	
	授業科目	必修	選択	自由	講義番号		授業科目
計算機リテラシ入門	2				106015	計算機リテラシ入門	
離散数学入門	2				106016	離散数学入門	
微分方程式論	2				106001	応用解析学A	
ベクトル解析	2				106018	ベクトル解析	
情報統計学	2				106019	情報統計学	
数理統計学Ⅰ	2				106006	数理統計学Ⅰ	
プログラミング言語	2				106021	プログラミング言語	
外国書講読	2				106011	外国書講読	
卒業論文	10				106014	卒業論文	
情報課題研究	10				106020	情報課題研究	
計算機操作入門			2		106120	計算機操作入門	
計算機理論入門			2		106121	計算機理論入門	
線形代数Ⅲ			2		106122	線形代数Ⅲ	
グラフとアルゴリズム			2		106123	グラフとアルゴリズム	
プログラミング言語演習			1		106143	プログラミング言語演習	
計算解析Ⅰ			2		106141	計算解析	
計算解析Ⅱ			2		106146	数値シミュレーションⅠ	
代数学Ⅰ			2		106101	代数学Ⅰ	
代数学Ⅱ			2		106104	代数学Ⅱ	
幾何学基礎			2		106126	幾何学基礎	
幾何学要論			2		106127	幾何学要論	
複素関数論			2		106003	応用解析学B	
フーリエ解析			2		106143	フーリエ解析と偏微分方程式	
偏微分方程式論			2		106144	偏微分方程式とその応用	
確率論			2		106131	確率論	
応用数理Ⅰ			2				非開講
応用数理Ⅱ			2				非開講
応用数理特論Ⅰ			2				非開講
応用数理特論Ⅱ			2		106205	応用数理特論Ⅱ	
実験数理			2		106132	実験数理	
実験情報数理			2		106133	実験情報数理	
環境アナリシスⅠ			2		106148	環境アナリシス	
環境アナリシスⅡ			2		106112	環境アナリシスⅡ	集中講義
環境情報モデル学Ⅰ			2		106147	数値シミュレーションⅡ	
環境情報モデル学Ⅱ			2		106149	環境情報モデル学	
環境数理解析			2		106145	力学系とモデリング	
数理生物学特論			2		106150	環境数理生物学	
環境数理モデル			2				非開講
数理統計学Ⅱ			2		106114	数理統計学Ⅱ	
環境統計科学Ⅰ			2		106115	環境統計科学Ⅰ	
環境統計科学Ⅱ			2				非開講
計算統計学Ⅰ			2		106138	計算統計学Ⅰ	
計算統計学Ⅱ			2			計算統計学Ⅱ	非開講
計量アナリシスⅠ			2		106118	計量アナリシスⅠ	
計量アナリシスⅡ			2		109119	計量アナリシスⅡ	集中講義
環境統計モデル			2				非開講
情報と職業			2		106213	情報と職業	
情報数理インターンシップ			2		106214	情報数理インターンシップ	
情報化社会と技術			2		106216	情報化社会と技術	
計算機アーキテクチャⅠ			2		106215	計算機アーキテクチャⅠ	

※平成19年度は一部授業科目が新カリキュラムの授業科目名で開講されます。平成18年度以前入学者は、対応する授業科目を十分確認のうえ履修してください。

※平成16年度以前入学者が専門基礎科目「循環型社会システム」を修得した場合は、専門科目の選択科目に算入されます。

■ 専門科目
環境デザイン工学科

区分	平成15年度以前入学者	平成16年度入学者	平成17年度入学者	平成18年度入学者	平成19年度入学者	要件
専 門 基 礎 科 目	自然と科学 ※未履修者のみ「循環型社会システム」で読替	自然と科学	—	—	—	共通
	環境理工学入門 (専門の選択科目)	環境理工学入門 技術者倫理	—	—	—	
	—	—	—	—	キャリア形成論	
	情報処理入門	情報処理入門	—	—	—	基礎科学系科目
	力学入門	基礎からの力学	—	—	—	
	情報処理	情報処理 (C言語)	—	—	—	
	—	情報処理 (Fortran言語)	—	—	情報処理 (Fortran言語) (選択A群)	
	基礎線型数理学 I	線形代数 I	—	—	—	
	基礎線型数理学 II	線形代数 II	—	—	—	
	統計学 I	統計学 I	—	—	—	
	統計学 II	統計学 II	—	—	—	
	現代の物理学	現代の物理学	—	—	—	
	現代の化学	現代の化学	—	—	—	
	環境生物・化学	水質学	—	—	—	環境科学系科目
	環境影響評価学	環境影響評価学	—	—	—	
	H13 都市と環境 H14～15 地域社会と環境 (専門の選択科目)	環境と地盤 (専基・環境科学・選択) 循環型社会システム	—	—	—	
気象と水象	気象と水象	—	—	—		
地球と環境	地球と環境	—	—	—		
環境植物学	環境生物学	—	—	—		
基礎地球科学	基礎地球科学	—	—	—		
エネルギーとエントロピー	エネルギーとエントロピー	—	—	—		
環境と物質	環境と物質	—	—	—		
—	—	—	—	—		
専 門 科 目	測量学	測量学	—	—	—	必修
	測量学実習	測量学実習	—	—	—	必修
	環境水理学	環境水理 (必修)	環境水理 (平成17年度入学者以降 選択D群)	—	—	(注)
	外国書講読	外国書講読	—	—	—	必修
	卒業論文	卒業論文	—	—	—	必修
	(専門の選択科目)	プログラミング言語 (環境数理学科)	—	—	—	A群
	(専門の選択科目)	応用解析学A (環境数理学科)	—	—	—	A群
	(専門の選択科目)	応用解析学B (環境数理学科)	—	—	—	A群
	環境デザイン工学演習	環境デザイン工学インターンシップ	—	—	—	A群
	変形体力学 I ※107143で「変形体力学 I 及び演習」で、登録し「構造解析学」と同時に履修。「変形体力学 II」のみ未取得の場合は、専用の講義番号107006で登録。	変形体力学 I 及び演習	—	—	—	B群
	構造解析学 ※107143で「変形体力学 I 及び演習」で、登録し「変形体力学 I」と同時に履修。「構造解析学」のみ未取得の場合は、専用の講義番号107127で登録。					
	変形体力学 II ※107144で「変形体力学 II 及び演習」で、登録し「設計製図」と同時に履修。「変形体力学 II」のみ未取得の場合は、専用の講義番号107124で登録。	変形体力学 II 及び演習	—	—	(変形体力学 II) ※H19未開講	B群
	設計製図 ※107144で「変形体力学 II 及び演習」で、登録し「変形体力学 II」と同時に履修。「設計製図」のみ未取得の場合は、専用の講義番号107124で登録。		(振動学) ※H19未開講			
	コンクリート構造設計学 I ※107146で登録して「同II」と同時に履修。「同I」のみ未取得の場合は専用の講義番号107131で登録。	コンクリート構造設計学及び演習	—	—	(コンクリート構造設計学 I) ※H19未開講	B群
	コンクリート構造設計学 II ※107146で登録して「同I」と同時に履修。「同II」のみ未取得の場合は専用の講義番号107131で登録。		(コンクリート構造設計学 II) ※H19未開講	B群		

区分	平成15年度以前入学者	平成16年度入学者	平成17年度入学者	平成18年度入学者	平成19年度入学者	要件
専 門 科 目	構造材料学 ※平成15年度以前入学者は、専用の番号107007「構造材料学」で登録し、通年の「構造材料学及び実験」の前半（講義部分）のみ履修。	構造材料学	構造材料学及び実験 ※平成16年度入学者は、「構造材料学及び実験」を必ず通年で履修すること。（「構造材料学」と「材料試験法及び実験」2科目に読み替える。）			B群
	土質・材料試験法及び実験 ※平成15年度以前入学者は、107136で登録し、「構造材料学及び実験」（通年）の後半部分と「土質試験法及び実験」を同時に履修すること。	材料試験法及び実験				B群
	鋼構造設計学	鋼構造設計学				C群
	数値解析学	数値解析学(B群)		数値解析学(A群)		(注)
	耐震防災工学	耐震防災工学			(H20以降非開講)	B群
	環境振動論入門	環境振動論			(H20以降非開講)	B群
	土質力学Ⅰ	土質力学Ⅰ				C群
	土質力学Ⅱ	土質力学Ⅱ				C群
	地盤調査法	土質力学演習				C群
	地下水環境工学	地下水環境工学				C群
	岩盤工学	地下空間工学			(地盤工学) ※H19未開講	C群
	地盤環境工学	地盤環境防災工学			(地盤環境工学) ※H19未開講	C群
	水理学 ※「水理学」で登録。	水理学及び演習 ※平成16～18年度入学者は右の「水理学」「水理学演習」を必ず同時に履修登録すること。両方の単位を取得して初めて「水理学及び演習」に読み替える。			水理学	D群
	水工学演習 ※「水理学演習」で登録。				水理学演習	D群
	水理設計学	水理設計学及び演習				D群
	水資源工学	水理計測法及び実験				D群
	水理・水質計測法及び実験	水質計測法及び実験				D群
	河川環境学	河川環境学				D群
	(専門の選択科目)	(選択D群に算入)	流域水文学(環境管理工学科)			D群
	沿岸環境学	沿岸環境学				D群
環境質制御	上下水道学				E群	
環境水質解析	水環境解析				E群	
地球環境論	廃棄物マネジメント				E群	
生態工学	生態毒性学				E群	
大気環境学	大気環境学				E群	
(専門の選択科目)	公衆衛生学(薬)	衛生薬学Ⅱ(薬)			E群	
(専門の選択科目)	都市経済学(経済)				E群	
(専門の選択科目)	地域経済学(経済)				E群	
H13 社会システム工学 H14～15 計画数理	計画数理				F群	
H13 都市・地域計画 H14～15 都市・地域計画学	都市・地域計画学				F群	
H13 地球環境計画 H14～15 環境計画学	環境計画学				F群	
(専門の選択科目)	計画学演習				F群	
文明と環境形成の歴史 ※右の「景観論Ⅰ」で履修登録すること。	文明と環境形成の歴史 ※右の「景観論Ⅰ」で履修登録すること。			景観論Ⅰ	F群	
地形・地理情報解析	地形・地理情報解析				F群	
H13 運輸交通計画 H14～15 交通計画学	交通計画学				F群	
景観論及び演習 ※右の「景観論Ⅱ及び演習」で履修登録すること。	景観論及び演習 ※右の「景観論Ⅱ及び演習」で履修登録すること。			景観論Ⅱ及び演習	F群	

※平成19年度は、太字の授業科目名が開講されます。

(注) この科目は入学年度により卒業要件の科目区分が異なります。入学年度の学生便覧で確認してください。

■ 専門科目
環境管理工学科

平成14, 15年度入学者			平成16年度以降入学者			備 考
授 業 科 目	単 位	要件	講義番号	授 業 科 目	要件	
基礎地形情報学	2	必修	108014	基礎地形情報学	必修	
基礎地形情報学実習	2	必修	108015	基礎地形情報学実習	必修	
土壌科学概論	2	必修	108003	土壌科学概論	必修	
植生管理学	2	必修	108004	植生管理学	必修	
土壌物理学	2	必修	108005	土壌物理学	選択	
流体力学入門	2	必修	108006	流体力学入門	必修	
流域水文学	2	必修	108007	流域水文学	必修	
構造力学Ⅰ	2	必修	108008	構造力学Ⅰ	必修	
土質力学	2	必修	108009	土質力学	必修	
環境経済学	2	必修	108010	環境経済学	選択	
土地利用計画学	2	必修	108011	土地利用計画学	必修	
地域景観論	2	必修	108012	地域景観論	必修	
環境生物学実験	1	必修	108114	環境生物学実験	必修	
土壌物理実験	1	必修	108115	土壌物理実験	必修	
水利実験	1	必修	108116	水利実験	必修	
土質・コンクリート実験	1	必修	108117	土質・コンクリート実験	必修	
卒業論文	10	必修	108013	卒業論文	必修	
講座演習	1	選択	108101	講座演習	必修	
分野演習Ⅰ	1	選択	108017	分野演習	必修	
分野演習Ⅱ	1	選択				非 開 講
水域環境管理学	2	選択	108104	水域環境管理学	選択	
土壌圏管理学	2	選択	108105	土壌圏管理学	選択	
生産基盤管理学	2	選択	108106	生産基盤管理学	必修	
水資源利用学	2	選択	108107	水資源利用学	必修	
水文環境管理学	2	選択	108108	水文環境管理学	必修	
環境施設設計学	2	選択	108109	環境施設設計学	必修	
環境施設管理学	2	選択	108110	環境施設管理学	選択	
公共財管理論	2	選択	108111	公共財管理論	必修	
地域経済学	2	選択	108112	地域経済学	選択	
景観管理学	2	選択	108113	景観管理学	選択	
地形情報管理学	2	選択	108118	地形情報管理学	選択	
環境情報処理	2	自由	108201	環境情報処理	選択	
地形情報管理学実習	2	自由	108218	地形情報管理学実習	選択	
外国書講読	2	自由	108212	外国書講読	選択	
土壌の物質移動学	2	自由	108204	土壌の物質移動学	必修	
水理学	2	自由	108206	水理学	選択	
環境気象学	2	自由	108207	環境気象学	選択	
構造力学Ⅱ	2	自由	108208	構造力学Ⅱ	必修	
地盤防災工学	2	自由	108209	地盤防災工学	選択	
地域開発論	2	自由	108210	地域開発論	必修	
土地利用計画学演習	2	自由	108211	土地利用計画学演習	選択	
環境管理工学実習	2	自由	108213	環境管理工学実習	選択	
森林環境論	2	自由	108214	森林環境論	選択	
農村整備学	2	自由	108215	農村整備学	必修	
水質管理学	2	自由				非 開 講
コンクリート工学	2	自由	108217	コンクリート工学	選択	
環境管理数学	2	自由	108219	環境管理数学	必修	
応用解析学A	2	自由	106001	応用解析学A	選択	
応用解析学B	2	自由	106002	応用解析学B	選択	
(農村計画論)	2	(自由)	108016	農村計画論	必修	

■ 専門科目
環境物質工学科

平成11～14年度入学者		履修要件 ・単位		平成15年度以降入学者		備考
	授業科目	必修	選択	講義番号	授業科目	
必修科目 55単位	物理化学Ⅰ	2		109029	物理化学A	
	物理化学Ⅱ	2		109026	熱力学	
	物理化学Ⅲ	2		109030	物理化学B	
	物理化学Ⅳ	2		109031	物理化学C	
	有機化学Ⅰ	2		109005	有機化学Ⅰ	
	有機化学Ⅱ	2		109006	有機化学Ⅱ	
	有機化学Ⅲ	2		109007	有機化学Ⅲ	
	高分子化学Ⅰ	2		109008	高分子化学Ⅰ	
	化学結合論Ⅰ	2		109009	化学結合論Ⅰ	
	化学結合論Ⅱ	2		109010	化学結合論Ⅱ	
	無機化学Ⅰ	2		109027	無機化学	
	無機化学Ⅱ	2				非開講
	固体化学Ⅰ	2		109121	固体化学	
	環境分析化学	2		109014	環境分析化学	
	化学工学Ⅰ	2		109033	化学工学B	
	化学工学Ⅱ	2		109124	分離工学	
	化学工学Ⅲ	2		109125	微粒子工学	
	反応工学	2		109018	反応工学	
	外国書講読Ⅰ	2		109034	外国書講読	
	外国書講読Ⅱ	2				非開講
環境分析化学実験	2		109021	環境分析化学実験		
環境化学実験Ⅰ	1		109022	環境化学実験Ⅰ		
環境化学実験Ⅱ	1		109023	環境化学実験Ⅱ		
環境化学実験Ⅲ	1		109024	環境化学実験Ⅲ		
卒業論文	10		109025	卒業論文		
選択科目 18単位	機器分析		2	109101	機器分析	
	固体物性化学		2			非開講
	環境有機化学		2	109103	環境有機化学	
	環境触媒化学		2	109104	環境触媒化学	
	高分子化学Ⅱ		2	109105	高分子化学Ⅱ	
	再資源材料学		2			非開講
	セラミック構造材料化学		2			非開講
	固体化学Ⅱ		2			非開講
	機能材料学		2	109122	セラミックス物性化学	
	環境化学工学		2			非開講
	移動速度論		2	109032	化学工学A	
	環境政策論		2	109112	環境政策論	非開講
	化学装置設計		2	109113	化学装置設計	
	有機機能物質化学		2			非開講
	労働環境工学		2	109115	労働環境工学	
	環境物質工学各論Ⅰ		1	109116	環境物質工学各論Ⅰ	
	環境物質工学各論Ⅱ		1	109117	環境物質工学各論Ⅱ	
	環境物質工学各論Ⅲ		1			非開講
	環境物質工学各論Ⅳ		1			非開講
	応用解析学A		2	106001	応用解析学A	
応用解析学B		2	106002	応用解析学B		

※平成14年度以前入学者は、平成15年度以降入学者に対応する授業科目を履修してください。

※消失科目、非開講科目については担当教員または教務学生係に問い合わせてください。

6 外部検定試験による単位認定

外部検定試験（TOEIC, 英検ほか）の級又は得点によっては、教養教育科目の外国語科目の単位認定を受けることができます。対象となる検定試験及び基準は次のとおりです。

外部検定試験における単位認定基準（平成19年度入学者用）

※平成18年度以前入学者については、入学年度の学生便覧で認定基準を確認してください。

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数			
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	470～585点 (OT3) 590～725点 (OT2)	別表の③から⑥の中より選択 2単位 別表の③から⑥の中より選択 4単位			
	実用英語技能検定 (英 検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準 1 級 B 級 500点以上 173点以上 61点以上	} 別表の①から⑥の中より選択 4単位			
	【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	730点以上 (OT1)		別表の②から⑥の中より選択 6単位		
	実用英語技能検定 (英 検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1 級 A 級 550点以上 213点以上 79点以上		} 別表の①から⑥の中より選択 8単位		
	ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)			4 級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) 又は ドイツ語初級Ⅰ (総合) 4単位
					3 級 以上	ドイツ語初級Ⅱ (総合) 又は ドイツ語中級 4単位
	フ ラ ンス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5 級	フランス語初級Ⅰ (文法) 又は フランス語初級Ⅰ (読本) 2単位		
			4 級	フランス語初級Ⅰ (文法) フランス語初級Ⅰ (読本) フランス語初級Ⅱ (文法) フランス語初級Ⅱ (読本) 又は フランス語初級Ⅰ (総合) 4単位		
			3 級 以上	フランス語初級Ⅱ (総合) 又は フランス語中級 4単位		

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
韓 国 語	韓国語能力試験	1 級	韓国語初級Ⅰ（文法） 韓国語初級Ⅰ（読本） 韓国語初級Ⅱ（文法） 韓国語初級Ⅱ（読本） 又は 韓国語初級Ⅰ（総合） 4単位
		2 級 以 上	韓国語初級Ⅱ（総合）又は 韓国語中級 4単位
イタリヤ語	実用イタリヤ語検定	5 級	イタリヤ語初級Ⅰ（文法）又は イタリヤ語初級Ⅰ（読本） 2単位
		4 級	イタリヤ語初級Ⅰ（文法） イタリヤ語初級Ⅰ（読本） イタリヤ語初級Ⅱ（文法） イタリヤ語初級Ⅱ（読本） 4単位
		3 級 以 上	イタリヤ語中級 4単位
スペイン語	スペイン語技能検定	6 級	スペイン語初級Ⅰ（文法）又は スペイン語初級Ⅰ（読本） 2単位
		5 級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） スペイン語初級Ⅱ（文法） スペイン語初級Ⅱ（読本） 4単位
		4 級 以 上	スペイン語中級 4単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とします。
2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とします。
3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とします。
4 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、イタリヤ語及びスペイン語に関しては、一つの授業科目について外部検定試験等による単位認定は1回限りとします。

別 表

項 番	授 業 科 目 名
①	英語（環境理工1・2・3・4）
②	英語（ネイティブ）
③	英語（オラコン）
④	英語（作文・文法）
⑤	英語（読解）
⑥	英語（検定）

単位認定の申請について

年に2回（9月認定、3月認定）申請を受け付けますので、単位認定願等の必要書類を提出してください。提出期間等詳細はその都度掲示します。